



2018 ぴっぷろ議会だより



学校はどんなところかな？ 中央小学校入学式（4月5日）

- 審議結果「3月定例会」・・・・・・・・・・ 2
- 一般質問 ズバリ！ここが聞きたい・・・・・・・・ 3
- 平成30年度予算審議・委員会の活動・・・・・・・・ 6
- 中央小学校6年生が
「比布町活性化プロジェクト意見発表会」・・・12
- ぴっぷろのキラリ☆輝く町民活動を紹介ほか

次のとおり決まりました 3月定例会

平成30年第1回町議会定例会は、3月5日から8日まで開催されました。

審議内容は、比布町立診療所の設置及び管理に関する条例の制定についてを含む、条例制定2件、条例改正6件、補正予算8件、新年度予算7件など議案23件を審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問には、3人の議員から4件の質問が出され、町の考え方や方針を問いました。

主な審議内容についてお知らせします。

主な審議内容



報告

◆専決した事件の報告

除雪作業車の接触事故による25万円の賠償報告（損害保険適用）。

条例制定

◆比布町立診療所の設置及び管理に関する条例の制定

町立診療所の指定管理者導入に向けての制定。医師法及び地方自治法の規定により指定管理者は、団体又は法人が受けるものであるが、本町の診療所は、町と医師個人との契約

平成29年度各会計補正予算 (第1回定例会)

一般会計（第8号）	1億693万円の減
総額 48億5,915万円→47億5,222万円	
■米麦等振興補助金、町営住宅建設工事費の減ほか	
一般会計（第9号）	9,107万円の増
総額 47億5,222万円→48億4,329万円	
■中学校改築工事費、担い手支援等補助金の増ほか	
国民健康保険（第4号）	2,508万円の減
総額 6億6,899万円→6億4,391万円	
■被保険者療養給付費の減ほか	
後期高齢者医療（第2号）	23万円の増
総額 6,178万円→6,201万円	
■広域連合納付金の増ほか	
介護保険（第4号）	2,421万円の増
総額 5億9,984万円→6億2,405万円	
■介護サービス給付費の増ほか	
観光事業（第2号）	385万円の減
総額 1億4,760万円→1億4,375万円	
■スキー場運営事業経費の減	
簡易水道事業（第1号）	688万円の減
総額 2億8,830万円→2億8,142万円	
■施設整備工事費の減ほか	
公共下水道事業（第1号）	191万円の減
総額 9,916万円→9,725万円	
■下水道施設負担金の減ほか	

による公設民営方式の運営でした。地方自治法の改正により、指定管理者制度が導入され、本町のような医師個人との契約は適切なものとなっていないため、指定管理者制度の運用ができるよう条例を制定するものです。

【原案可決】



条例改正

◆比布町国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険は、平成30年度から全道広域化となるため、事務の統一化を図るなどの条例改正を行うものです。【原案可決】

◆比布町介護保険条例の一部を改正する条例

町が策定した第7期介護保険事業計画（平成30～32年度）において、要介護認定者の重度化や施設入所の増加を見込み、介護保険料の基準額を引き上げるものです。【原案可決】



植西 浩一 議員

高齢者が安心して暮らせる 比布になるために

村中町長 >>>

多様なニーズに応える仕組みを つくるよう努める

□質問・植西議員

町内でさまざまな福祉活動が始まっています。ぴっぷの和、ボランテニアなどの活動や保健福祉課の事業など、前進している感じはありますが、まだまだ今できることがすべて実施されているとは思いません。福祉関連の環境は変化が著しく、ロボットでの介護負担の軽減や自動運転車両の二次交通の確保など遠い未来の話ではありません。

これらの導入には専門的にプロデュースできるものが欠かせないと思います。

今後の高齢者が安心して元気に暮らせるまちづくりへのアイデアをお聞かせください。

■答弁・村中町長

「比布町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」が、この4月から第7期としてスタートします。団塊の世代が75才以上となる平成37年を見据え、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるよう、医療・介護・予防・住環境・生活支援を確保するために地域包括ケアシステムを構築し、健やかに暮らせる安全で安心なまちづくりをいっそう進める必要があります。国の介護保険制度も転換期を迎え、特に予防事業を市町村に移行し、現状に合

わせた地域支え合い活動による多様なニーズに応える仕組みをつくるように努めなくてはなりません。

また、介護人材の不足には厚生労働省の進める「介護機器開発5カ年計画」によりロボットの普及が見込まれるため、地域ケア会議においても検証、情報共有を図ります。

二次的公共交通の確保についても改善されるよう研究を続けたいと考えています。

□質問・植西議員

介護人材不足に対応するため、近隣地域の学校などと連携し、※インターシップを含めた人材確保をしてはどうですか。

■答弁・村中町長

就業人口の減少に伴い、身体機能補助ロボットの介護従事者への活用も含め、有効性の確認をしていきたいと思えます。

また、近隣の教育機関との連携については研究したいと思えます。

□質問・植西議員

ハイヤー会社は町内にはないが、近隣町から迎車料金がかららずに呼べます。

乗車料金を補助を出せば、活用しやすくなるのではないかと？

■答弁・村中町長

ハイヤーだけでなく、JRやバスも含めて移動支援を考えなくてはな

りません。全体のバランスを考え、仕組み化したいと思えます。

□質問・植西議員

高齢者に向けたサービスを国などのサービスも含めてホームページ等で一覧表示してはどうですか。

■答弁・村中町長

分かりやすく表記できるよう編集していきたいと思えます。

□質問・植西議員

広聴については、町が設定している懇談会などだけでなく、現場に携わるものから広聴できる仕組みにしてはどうですか。

■答弁・村中町長

まちづくり懇談会、あるいは、町長への手紙等により町民からご意見をいただいておりますが、常に住民の声が聞ける役場体制が理想的だと思います。広聴の場を増やすことは特に考えていませんが、住民の皆さんとの距離の縮まった役場づくりに努めていきたいと思えます。

※インターシップとは…

学生に就業体験の機会を提供する制度。実際に企業で一定期間、職場体験ができる。職業選択、適性の見極めが目的のために無報酬のケースが多い。



大熊 勝幸 議員

人口減少対策のビジョンは…

村中町長 >>>

「オール比布」の体制で進めていきたい

□質問・大熊議員

先の町長選挙において、町長は人口減少対策を最大のテーマに掲げ当選されました。地方消滅が叫ばれている今日、積極的な対策を打たなければ、先人が命懸けで築き、120年以上続いた比布町が消滅してしまう危機にあります。

宅建協会旭川支部との連携事業や、平成28、29年度に実施した民間集合住宅建築推進事業によって、住の部分の体制整備は進んでいます。が、それだけでは人口減少対策としては不十分です。

実効性のある人口減少対策にするためには、子育て環境や生活環境の整備等、安心して住み続けることができるための積極的かつ戦略的な政策が必要です。

町長が描かれている人口減少対策のビジョンをお聞かせください。

■答弁・村中町長

「積極的な対策を打たなければ比布町が消滅してしまう危機にある」という点について、私も議員と同様の危機感を持っています。

そして、この地方創生にかかる最重要課題は、人口減少対策であると考えます。これまでは、空き地空き家の流動化対策や民間賃貸住宅の建設支援・家賃補助など、宅建協会や民間事業者の協力も得ながら、一定

程度の成果は出ておりますが、移住施策については、「住の部分」だけの対策では不十分であると考えています。

今、本町に暮らす方々が「住んでよかった」と思えるまちづくりを進めることによって、移住を希望される方が「住んでみたい」と思っているだけ町を目指し、人口減少対策を進めていく考えです。

子育て環境や教育環境、福祉環境、買い物環境、交通対策など、ほぼすべての分野が人口減少対策に関連するものと考えており、「すべての職員が人口減少対策の担当者である」と伝えていくところです。

120年以上の歴史を積み重ねてきた比布町が、私たちの子や孫の代までも元気な町であり続けてほしい。今できることを町民や議会、各種団体、事業者、行政など「オール比布」の体制で進めていきたいと考えております。

□質問・大熊議員

今、町長が「危機感を持っている」と言われましたが、私は会社経営においても、町の運営においても、現実認識というのが一番重要だと思っています。

そこで、一番重要な現実認識ですが、町長が言われた危機感の理由を詳しくお聞かせください。

■答弁・村中町長

この「危機感」というのは、町が消滅するかもしれないという危機感、町の運営が成り立たなくなるかもしれないという危機感です。

現在の国の流れは、「都市機能を中核的なまちに集中しなさい」という方向に進められようとしていると私は思っています。

全国には、約1700の自治体がありますが、国の当初の目標は、1000にしたいという目標を掲げて、まだその倍ぐらい市町村がある現実です。国は、1000にするまで、何らかの対策を打ってくるのではないかとこの危機感を持っているということです。

比布町としても、人口が3800人を切り、減少してきますので、一定程度の人口と財源をもって、独自の政策もある程度実施できる自治体として、今後とも存続させていき、124年続いた比布町を子や孫の代までも元気な比布町であってほしい、故郷を残していきたいと考えています。

みんなて意見を出し合い
みんなて考える
それが「オール比布」だね！





遠藤 ハル子 議員

町営住宅の建て替え住宅への 入居者に対してケアが必要では

村中町長 >>>

入居後の一定期間に訪問確認をしたい

□質問・遠藤議員

今、整備している町営住宅の転居前の説明はされているようですが、入居後には少ないように思います。入居者が暮らしている実態から、今後の建設への改善に役立つことはいかなどの視点が大事だと思いますが、今後、新築した住宅に入居された方へのケア（説明）をどのようにしていきますか。

また、今の家賃から上がることで激変緩和5年の段階的な家賃となっていますが、家賃軽減となるような他の政策も考えていますか。

■答弁・村中町長

町営住宅に対するニーズは依然として高く、現在300世帯、約550人の方が町営住宅に入居しています。これまで、ご相談やご意見、ご要望などについては、入居者の方から直接お話を聞く機会は設けていませんでしたので、ご指摘のとおり、こちらが気づかないようなご不満や、ご不便をおかけしている面もあるかと考えています。

このため、今後は、新築した住宅に限らず、新たに町営住宅に入居された方に対し、入居されてから一定期間を経過した後には訪問させていただき、機器の使い方や住み心地に関するご意見などを伺い、入居者の方々が快適にお住まいいただけるよ

う、一層きめ細かな対応に努めていきます。

家賃軽減については、長期間の病氣療養や災害、著しい生活困窮などに対する減免措置など、高齢者や低額所得者の方々にも配慮されている制度であると考えていますので、現状でのご理解をお願いします。

□質問・遠藤議員

「4月からの国保都道府県化に伴う保険料額が決定したのか」

北海道に100%納めることが義務付けられる「納付金」を支払うために市町村が集めるべき保険料の目安となる「保険料収納必要額」の本公表が遅れています。この保険料をどのように試算されていますか。

かつてない制度改正は、国民に広く負担を求める医療改革法案に基づくもので、社会保障費を削減する改革の一つだと思っています。

保険料決定は「自治事務」であり、自治体本来の政策判断でできるものです。保険料が引き上げにならないようどのような考えのもと進めますか。

■答弁・村中町長

本町における事業納付金は、約1億2928万円とされており、必要額を現在の被保者数で割り返すと、1人当たり保険料は、13万円程

度となります。

正式には、平成29年度決算確定後、税の納付が確定し、被保者数等の状況等に応じ決定しますが、現況の試算では、町の現行水準と大幅な変動はないものと予測しています。本町としては、被保者数の高齢者の占める割合や1人当たり医療費が高い状況にあるため、道広域化による影響格差が少なかつたものと推測しています。

保険料の上昇は、被保険者の皆さまへの大きな負担となりますので、保険料の過度な負担にならないよう動向をしっかりと見極め、納税のさらなるご理解と特定健診や各種検診の受診率向上を目指し、保険者努力支援制度の積極的な取り組みにも引き続き努力していきます。

□質問・遠藤議員

構造的な課題として、年齢が高く医療費水準が高い、低所得者が多い、小規模保険者が多い、この3課題を解決できるように今回の保険料が明示されたと思います。

「子どもの均等割軽減」についての考えはありますか。

■答弁・村中町長

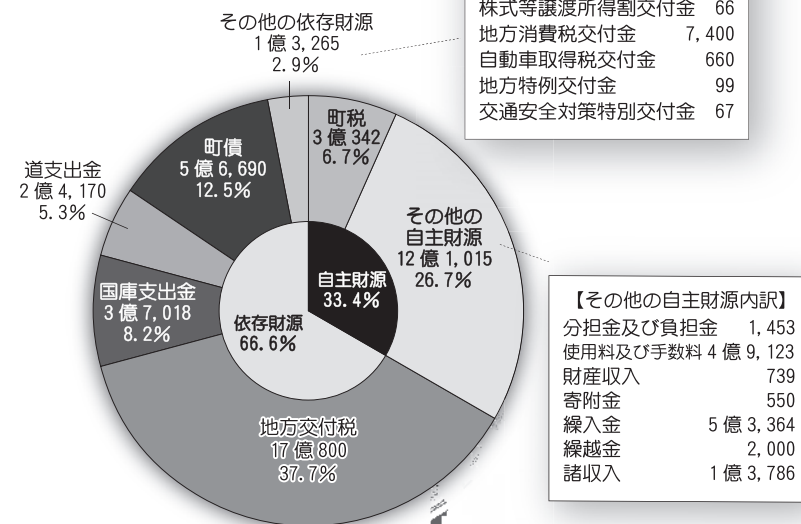
運営協議会などでも議論していますが、町独自に特別な減免をするということとは、現在のところ考えていません。

一般会計歳入歳出予算 45億3,300万円

予算審議
予算特別委員会
3月7日

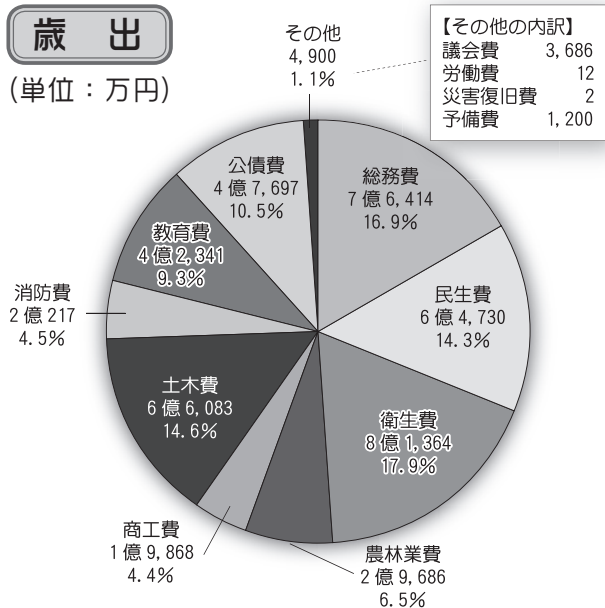
歳入

(単位：万円)



歳出

(単位：万円)



議長を除く議員8人で構成する予算特別委員会（委員長中本論・副議長）を設置し、新年度の予算審議が活発に行われました。

平成30年度当初予算を可決
予算総額62億1,358万円

■平成30年度会計別予算■

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	増減
一般会計	45億3,300万円	45億8,000万円	▲1.0%
国民健康保険特別会計	5億6,849万円	6億6,752万円	▲14.8%
後期高齢者医療特別会計	6,326万円	6,172万円	2.5%
介護保険特別会計	6億1,230万円	5億8,500万円	4.7%
観光事業特別会計	1億4,555万円	1億1,100万円	31.1%
簡易水道事業特別会計	2億1,246万円	2億8,830万円	▲26.3%
公共下水道事業特別会計	7,852万円	9,916万円	▲20.8%
合計	62億1,358万円	63億9,270万円	▲2.8%

▼町税関係

【八巻委員】税の公平性の観点から、滞納についてどのように対応していくのか。

【税務住民課長】納税相談などを行いつながりながら納税を促してまいりますが、相談による計画が履行されない場合には、滞納整理機構に移行する場合や、町としても預貯金などの財産調査や差し押さえ等も行っていきます。



▼使用料関係

【植西委員】グリーンパークの使用料が年々減少しているが、利用を促進させる具体的な方策は。

【産業振興課長】パークゴルフ人口が増えない現状もありますが、

グリーンパーク内の施設総体の活用法の検討に加え、良佳村エリア全体の問題として関係機関と検討を進め、新年度中には一定の方向性を出していきたいと思えます。

▼国庫支出金関係

【遠藤委員】保育措置費が増額となったが、移住者が増えたことで子どもも増えたが、保育所の対策は。

【保健福祉課長】国の子育て支援施策により単価が増額となりました。移住定住の増もありますが、年度ごとの出生数による関係で保育所も手狭になっており、安全管理を優先しながら入所準備を進めます。

▼町債関係

【山内・八巻委員】火葬場整備事業の構想について。

【保健福祉課長】場所等を含め、今後協議を進めますが、火葬場としての基本機能や利用者の快適性を重視し、人口規模に応じた建設コストにも配慮した施設を考えています。

【村中町長】老朽化により多額の修繕費用が必要となることや過疎

債の対象事業となることから決断しました。現行施設よりは一回り程度大きいものとしたいが、火葬場の基本機能の部分と利用者の休憩場所等とのバランスを工夫しながら、経費を節減できればと考えています。皆さんの意見も聞かせていただきたい。

▼総務費関係

【大熊委員】日本ハムファイターズ応援事業の内容は。

【まちづくり推進室長】ファイターの応援ツアーやグッズ販売などの応援活動を通じて町のPRや応援大使の選手との交流の機会も考えています。

【遠藤・佐藤委員】比布駅駐車場の改善について。

【まちづくり推進室長】駐車スペースの確保を優先するのか、駅前広場も含めて一体的に考えるのか意見をいただきたいと思えます。

【村中町長】利用者の安全を第一に考え、現在の形となったが、不便な点があるとの意見も理解しています。雪解け後にロータリー方式も含め判断します。

▼民生費関係

【植西委員】緊急通報システムが昨年より減額となっているが、台数は不足しているのではないのか。

【保健福祉課長】設置基準もありますが、使用しない在庫を増やせばその分の維持費もかかります。また、近隣町と比べても台数は多いです。

【安藤委員】「ぴびたく」の対象者拡大と高齢化が進むことで現在の送迎車両1台体制で対応は可能なのか。



現在のぴびたく車両
軽自動車1台での対応

【保健福祉課長】新年度から対象要件を拡大し、同居家族が自動車を持っていないでも週1回の利用を可能とします。実利用者数を今後把握していきますが、当面は現状で対応していきたいと思えます。

【村中町長】 対象者の拡充を行っても現状で対応可能と判断しました。他の公共交通機関の充実についても研究していければと思います。

▽衛生費関係

【八巻委員】 特定健診の受診率の向上のために健診項目を見直して健診料の負担を少なくすることはできないか。

【保健福祉課長補佐】 健診を受けない方の理由の大半は、医療機関にかかっていることで、金銭的な理由での影響は少ないことから現状で問題はないと考えます。

【保健福祉課長】 特定健診については、国の基準でもあることから検査項目を削ることはできない。がん検診についても、町としては毎年実施することで早期発見を目指しています。

▽労働費関係

【植西委員】 雇用対策事業について、商業・工業高校等への働きかけについてはどうなったのか。

【産業振興課長】 実施にあたり町内事業所の要望を確認したところ、パートや臨時職員が大多数で

あることから高校訪問は難しいと判断したものです。今後も事業所の考え方を優先しながら検討します。

▽農林業費関係

【八巻委員】 農地流動化対策について10年程度の長期事業とすることはできないか。

【産業振興課長】 賃貸の経過措置と併せて3年間の事業期間で集中的に売買への誘導を進める考えであり、期間の延長については状況に応じて検討していきたいと思えます。

【佐藤委員】 青果物振興事業の特定であるイチゴの振興について、新町長としてどのように進めるのか。

【村中町長】 本町のイチゴは市場において一定の評価をいただいております。今後も引き続き振興をしていきたいと考えます。また、生産者と関係機関によるイチゴの再振興を検討するためのプロジェクトチームを立ち上げたところです。



【佐藤委員】 遊湯びっぶの町民利用促進事業について集客対策として支援額を増額してはどうか。

【村中町長】 当面3年間の推移を見ようという内容でしたので、3年経過後の結果で見直し等を考慮したい。集客対策については良佳村全体の課題としても考えています。

【安藤委員】 農産加工室の利用者が高齢化していることから、その加工技術を若い世代へ引き継ぐ方策で利用を促進してはどうか。

【産業振興課長】 加工室については、当初、特産品の開発を目的とした場所ではありましたが、現在はそのような利用がないのが現実です。現在の利用者の方と技術の継承について意見交換を行い、検討したいと思えます。

▽商工費関係

【佐藤委員】 地元企業の育成について町長の考えは。

【村中町長】 商店数の減少と商工会の運営への影響については認識していますので、関係機関へも働きかけを行っていきます。事業承継についても商工会と協力しながら進めていければと思います。

▽土木費関係

【佐藤委員】 この冬は降雪量が多く、除雪作業も苦労が多かったと思うが、今後の課題として、駅から5差路までの道路がより危険な状況となった際には対応が可能なのか。

【建設課長】 5差路から国道までの7号道路の道路については、今年から町でも排雪作業を行うことにしました。駅前から5差路間についても降雪状況に応じて判断したいと思えます。

【植西委員】 除排雪作業について、作業時間が過度にならないよう増員できないか。また、今後も今年のような除雪状態が維持できるのか。

【建設課長】 今年は例年より降雪が多く、作業も例年よりは多くなった。今後も職員の勤務状況や体調管理に配慮しながら、限られた人員と機械での対応となりますが、できる限り細やかな作業に努めていきます。



▽消防費関係

【佐藤委員】 高規格救急車の更新について、機能の違いは何か。

【消防署長】 救急装備として自動心臓マッサージ機や最新型のAEDなどを導入することで隊員の労力を軽減し、患者の処置に集中できるものです。

▽教育費関係

【安藤委員】 放課後児童保育の延長により指導員の勤務体制や新規雇用はどうするのか。

【生涯学習課長】 指導員の方とも事前に協議をしていますが、新規雇用は行わず、現行体制の中で負荷のかからないような勤務体制を考えています。

【谷教育長】 時間延長は要望に基づいて教育委員会内部の検討や指導員の方と協議を行った中で進めてきたと考えてます。

【山内委員】 新しい中学校の給食施設の備品について、現在使用している備品もすべて新品にするのか。

【生涯学習課長】 現在利用している備品で更新の必要なものもありますが、それ以外の食器等は今までのものを使用します。

【植西委員】 スクールカウンセラーの配置についてのどのような状況か。

【生涯学習課長】 スクールカウンセラーについては、引き続き配置をしていきます。報告内容等も確認していますが、今のところ主だった懸案事項はないようです。現在のカウンセラーの方が辞められることから、新しい方について現在探しているところです。

【遠藤委員】 白寿大学の運営について、教育委員会のかかわり方は。

【生涯学習課長】 事業の運営に関しては、役員会等で事務局も協力しながら計画や準備を行っていますが、会の運営については自主的に行っています。

国民健康保険会計【歳入・歳出】

【八巻委員】 国民健康保険税について保険証を発行する保健福祉課での滞納対策についての考えは。

【保健福祉課長】 国民健康保険が広域化されても徴収業務は市町村の責任となりますので、税務の徴収担当に限らず、国保担当においても対応していきます。

観光事業会計【歳入・歳出】

【八巻委員】 リフト使用料について、実績に対し目標が高いと思うが考えは。

【産業振興課長】 近年増加しているファミリー層に加えて、新しい客層の確保や多様なグレンデの提供など、さまざまな営業戦略を駆使して予算に近づけていきたいと思えます。

【植西委員】 スキー場の夏場利用の検討はしているのか。

【産業振興課長】 近年は熊の出没などさまざまな課題もあります。が、良佳村エリアの再整備の中で検討していきます。

総括質疑

【植西委員】 財源不足の解消に積極的にふるさと納税制度を活用し、まちづくりに生かしてはどうか。

【村中町長】 財源不足は全国、全道的なものです。現在、ふるさと納税は伸びてきているところで、寄付をいただいた方の気持ちも十分配慮しながら事業展開に活用できればと考えています。今後は返礼品の充実についても図っていきたいと思います。



ふるさと納税返礼品の一例
写真上：比布産米
写真下：ニジマス燻製・昆布巻

【佐藤委員】 予算編成の考えや庁舎の老朽化はどのように考えるのか。予算が住民の心に届く無駄のない活力あるものとなるよう執行してほしい。

【村中町長】 予算編成にあたり、財源が不足する中で取捨選択を行ったが、最終的には財政調整基金を4億円ほど取り崩さなければならなくなった点は反省しており、適切に執行してまいります。

中学校については、子どもたちのためにも必要な予算を計上したと思っております。

また、火葬場の建設について決断をさせていただいたことから、庁舎につきましても次期のまちづくり計画の中で議論を進めたいと考えています。

活動

総務常任委員会
2月20・21日開催

【税務住民課】

《報告事項》

- 平成29年度町税等の調定及び収入状況について
- 上川広域滞納整理機構について
- マイナンバー交付状況について

【保健福祉課】

《協議事項》

- ▽衛生係
- ▼比布町立診療所の設置及び管理に関する条例の制定（案）について

医療法改正に伴い、当該施設の管理は医療法人として行うことが明確化され、新たな条例の制定・旧条例の廃止を行い、指定管理者制度の導入に向け、平成30年度中に手続きを進める予定です。

▽国保医療係

- ▼比布町国民健康保険条例の一

部を改正する条例（案）について
平成30年度から都道府県に広域化される国民健康保険事業の条例改正と、支給される被保険者に対する葬祭費が、現行1万円から改正後3万円に統一されます。

▽介護保険係

地域包括支援センター

▼比布町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定（案）について

指定居宅介護支援事業者（社会福祉協議会・あそか苑）の指定権限が都道府県から市町村に移譲されたため、町条例を制定します。

▼比布町介護保険条例の一部改正する条例（案）について

第7期介護保険計画策定に基づく保険料の改正を行い、これにより第6期（過去3年間）月額保険料基準額5700円/月が、第7期（平成30～32年度）では6600円/月とされます。

▼比布町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正（案）について

▼比布町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基

準を定める条例の一部改正（案）について

▼平成30年度予算（案）について
本年4月から生活支援サービス事業「びびたく」の利用制限が緩和され、自家用車所有世帯の方と同居するご高齢の方も（週1回程度）利用が可能となります。

・老朽化により、近年町民の懸念事項であった火葬場の改修計画が本年度設計に入り、施設の位置・規模・構造・外構整備等の協議が開始されます。

【生涯学習課】

《協議事項》

▼平成30年度予算（案）について
・4億2341万円

前年比57・46%
減額の多くは平成29年度の中学校改築費用で、30年度は駐車場を含む外構とグラウンド整備が行われ、8月中の竣工を目指します。
併設された小・中学校の両校が一体化されることを機に、比布町教育の一大拠点「総合教育施設」として開校されます。

《報告事項》

■比布町教育大綱の改定について
この大綱は、地域の特性を生かした創意・創造性の豊かな教育活動や子どもたちが地域の中で健康に学び、夢を持って成長することができるよう、また多様化する学習ニーズに対応し、生涯現役の実感を持って文化・スポーツ学習活動を楽しめる、心豊かな社会の実現に向けた施策に取り組むため、今後3年間（平成30～32年度）を対象とし、新たに取り組むものです。



総合教育施設として開校する予定の中学校と小学校校舎のイメージ

■中学校校舎改築事業(進捗状況)について

昨年3月10日から着工された比布中学校校舎改築工事ですが、平成30年1月末日の状況報告を受け、現在の進捗率は67・80%で、今後も「安全第一を最優先に無事故無災害で」、本年6月末日の竣工を目指します。

【総務企画課】

《報告事項》

- 第1回定例会提出議案について
- 地方財政対策について
- 平成30年度各会計当初予算(案)について

■地域おこし協力隊について

■大雪山フォトグランプリの結果について

《協議事項》

- ▼第1回定例会提出議案について
- ▼平成29年度補正予算(案)について
- ▼条例等制定・改正(案)について
- ▼平成30年度予算概要について(前年対比)

・総務管理費・企画費
移住定住対策事業

3562万9千円

121・37%

エネルギー対策事業

2千万円(新規)

産業建設常任委員会

2月26日開催

【建設課】

《報告事項》

■専決処分について

西町2丁目道路において排雪作業中に停車している車両にドーザーが接触し、損害を与えました。損害賠償額は25万円(損害保険適用)。

○委員会からの意見

作業前の安全確保を行い、作業を開始することを要望しました。

《協議事項》

▼平成29年度補正予算(案)について

▽除雪作業の増

除排雪作業の増加により、車両の燃料費、委託費について当初予算を超える見込み。燃料価格の上昇も影響しています。

○委員会からの意見

除排雪作業の状況から、増額補正を承認しました。

▽住宅建設費用の減

町営住宅(みどり町団地)建設において、土木委託料、工事請負費の減があり、住宅建設費と住宅管理費を合わせて2812万4千円の減となります。

▼平成30年度予算(案)について

▽土木費

・北1線道路を7号交差点まで完成させる計画です。

・東町団地建て替えについて議論が多く、1階に高齢者用、単身者住宅(1LDK)を備えた町営住宅。2階に家族用(3LDK)2戸を計画しています。

○委員会からの意見

2階部分が2戸の計画を4戸に変更できないか。また、2階の空いた空間に共用スペースができないかなどの提案をしたが、建築費の増大と将来の人口減に備え、町営住宅の戸数を増やさないと予定であり、現状の計画を進めることを承認しました。

【産業振興課】

《協議事項》

▼平成30年度予算(案)について

▽農林部門

・遊湯びっぶの運営事業費が増加しています。町民参加宿泊・宴会が好調であり、ビジネス客も増加傾向。レストランの復活が望まれますが、従業員の人手不足が解消されていない状況です。

・農林業においては、農業対策室を発展的に解消するとともに、

農地の確実な権利移動を図るため、賃貸支援から売買支援へとシフトする対策を講じます。

▽商工・観光部門

・グリーンパークびっぶの売り上げは厳しいものがありますが、夏の観光と町民の健康増進に寄与しているものと考えます。現状の管理体制を見直し、経費の抑制を図ることが必要です。

・テニスコート、多目的広場などの使用が少なく、キャンプ場の拡大、遊具施設の充実を検討します。

・スキー場において、8千万円の売り上げを目標とします。将来的には、一般会計からの繰り入れ、もしくは観光事業特別会計の変更も検討。従業員確保が非常に困難な状況です。



みんなで考えた! よろよいマチにするための提案!!

中央小学校6年生が 比布町活性化プロジェクト 意見発表会



★プレゼンテーションのはじまり



★比布のままであってほしい…私たちの願いを発表



★議員からの質問コーナー



★取り組んだ課題から新たなアイデアの発表

3月6日(火) 総合学習授業として、中央小6年生と担任の大島先生が、役場議場を訪問してくれました。

今回の来訪は『比布町活性化プロジェクト』と題し、昨年5月の修学旅行先(札幌市・小樽市)にて、観光客100名にインタビューすることから開始されました。

その後、3グループに分かれて調査結果を分析し、聞く立場に理解しやすく説明することを前提にデータ化された発表内容は…

1 観光活性化チーム

- ・ スキー場周辺でバナナボート体験を行い、知名度を上げる。
- ・ 空き地や空き店舗をリフォームし、比布に住んでもらう。

2 比布の魅力を伝えるチーム

- ・ 駅にレンタサイクルを配置し比布の自然とイチゴ狩り、摘んだイチゴを駅カフェに持ち帰りイチゴパフェも楽しんでもらう。
- ・ 有名神社百選に選定される比布神社は、日本最北の樺(けやき)の木と、縁結びの神がまつられ、マスコットを作りSNSで拡散し、知名度を上げる。

3 人口増加を考えるチーム

- ・ 0歳児から幅広い年齢層が集まれる場所をつくり、子どもからお母さんたちも仲良く交流してもらおう。

各項、利点・欠点の影響も想定され、素直な優しさと現実性が伝わり、称賛する場面も多々ありました。

子どもたちの純真で自由な発想(原点)を顧みつつ、今後のまちづくりに努めてまいります。

この度、貴重な機会をいただきました島学校長と担当教諭の大島先生・精鋭25名に、心よりお礼申し上げ、卒業生からのプレゼンテーション報告といたします。

佐藤 康則

ぴっぷのキラリ☆輝く町民活動を紹介

比布町文化連盟

ぴっぷ歌謡サークル

歌で元気ハツラツ！



会長の奥山八郎さん



昨年3月の文化連盟発表会に出演

ぴっぷ歌謡サークルの奥山会長にお話を聞きました♪

Q 今までの苦労話を聞かせてください!

35年前に合田敏さんをはじめ、少人数で設立しました。カラオケが全盛だったので、次々と入会者が増えたため、つらいと思ったことはありませんでした。

Q サークルの目標や合言葉はありますか?

いつも「和」を大事にと話しています。家族のような仲間であるとの意識を持つことを考え、会員には話しています。

毎年、近隣カラオケ交流会を開催し、約130名で15団体以上の方々と楽しんでいきます。施設慰問は特に喜んでもらえるので、今後も機会があれ

ば行きたいと思います。

また、地元のあそか苑にも毎月歌謡指導に行っています。会員さんとは年齢にこだわらず、歌を歌い続けていきたいと思っています。

Q 文化連盟の副会長として思うことは?

文化連盟の芸能発表会の出演者も少なくなり、寂しくなりましたので、形を変えてのサークル合同発表など、地域の皆さんが発表の場や見る人も楽しめることを考えていくことが必要ではないかと思っています。同じ趣味の人が集まり、新たな会をつくって、ぜひ、文化連盟に加盟してくれることをお待ちしております。

上川中央部5町議会議員研修会・・・2月8日(木)

上川中央部5町議会議員の研修会が比布町で開催されました。

最近新設された比布駅、そして、ぴっぷスキー場無料休憩施設スキップの紹介とそれぞれの活動について研修していただきました。

まず訪れたのは、比布駅ピピカフェと駅の待合施設です。

昨年、大盛況だったグランドオープン(約1,500人集客)を終え、大小さまざまなイベントを32回開催した経過やその集客の様子などをパンフレットを使って説明しました。

次に、スキー場スキップ内で建設までの経過や設置目的の説明、そして建物や設備の説明、冬期間のイベントの様子などをお話しました。

その後、遊湯ぴっぷにて懇親会が開かれ、意見交換が盛んに行われていました。

共にカムイミンタラ(神々の遊ぶ庭)を守る同志として友好を深めた一日でした。

植西 浩一



■ピピカフェ内で町担当者から説明



■スキップ内での説明の様子

議会のうごき

2月

- 8日 議員全員協議会 (役場、全議員)
上川中央部5町議会議員研修会
(遊湯びっふ、全議員)
- 11日 たけうち英順新春の集い (美瑛町、議長)
- 20~21日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 22日 上川町村議会議長会定期総会及び
行政懇談会 (旭川市、議長)
- 25日 ささき隆博ふるさとの集い (旭川市、議長)
- 26日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 28日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)

- 5~8日 第1回議会定例会 (役場、全議員)
平成30年度予算特別委員会 (役場、全委員)
- 14日 第71回比布中学校卒業式 (中学校、各議員)
- 16日 第53回中央小学校卒業式 (小学校、各議員)
- 17日 自由民主党北海道第6選挙区支部
早春の集い (旭川市、議長)
- 18日 旭川比布同郷会総会並びに交流会
(旭川市、議長)
- 22日 比布町社会福祉協議会評議員会総会
(福祉会館、議長)

3月

- 1日 大雪浄化組合議会定例会 (愛別町、組合議員)
愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会
(愛別町、組合議員)

4月

- 5日 中央小学校入学式 (小学校、各議員)
比布中学校入学式 (小学校、各議員)
- 13日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 23日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

■人事異動のお知らせ■



事務局長 坂上 幸男

4月1日付けの人事異動で議会事務局長に着任されました。よろしくお願ひします。

議会広報特別委員会

委員長	遠藤ハル子
副委員長	植西浩一
委員	八巻良博
	佐藤康裕
	安藤藤裕

編集後記

2月の大雪と記録的な寒さが全国を覆つこととなりましたが、3月になると、今度は記録的な暖かさで、桜が次々と満開になり、本当に今年はどんな年になるのか全く予想できない状況です。

予想できないといえば、「もうありません」と言っていた記録文書が、財務省、防衛省と立て続けに出てきたと思ったら、公文書偽造とも思える文書の書き換えというおまけまでついて出てきました。

地方財政が、年々逼迫しているのにもかかわらず、国有地は誰かの忖度で8億円も値引きされてしまつという現実。議会にしかできない権力への監視。今こそと思うのですが、何ともどかしい現実に腹が立つばかりです。

自戒を込めて、国会を注視しています。

(八巻 良博)